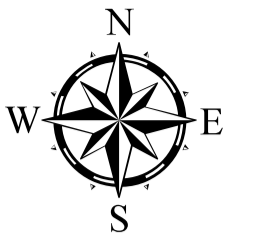


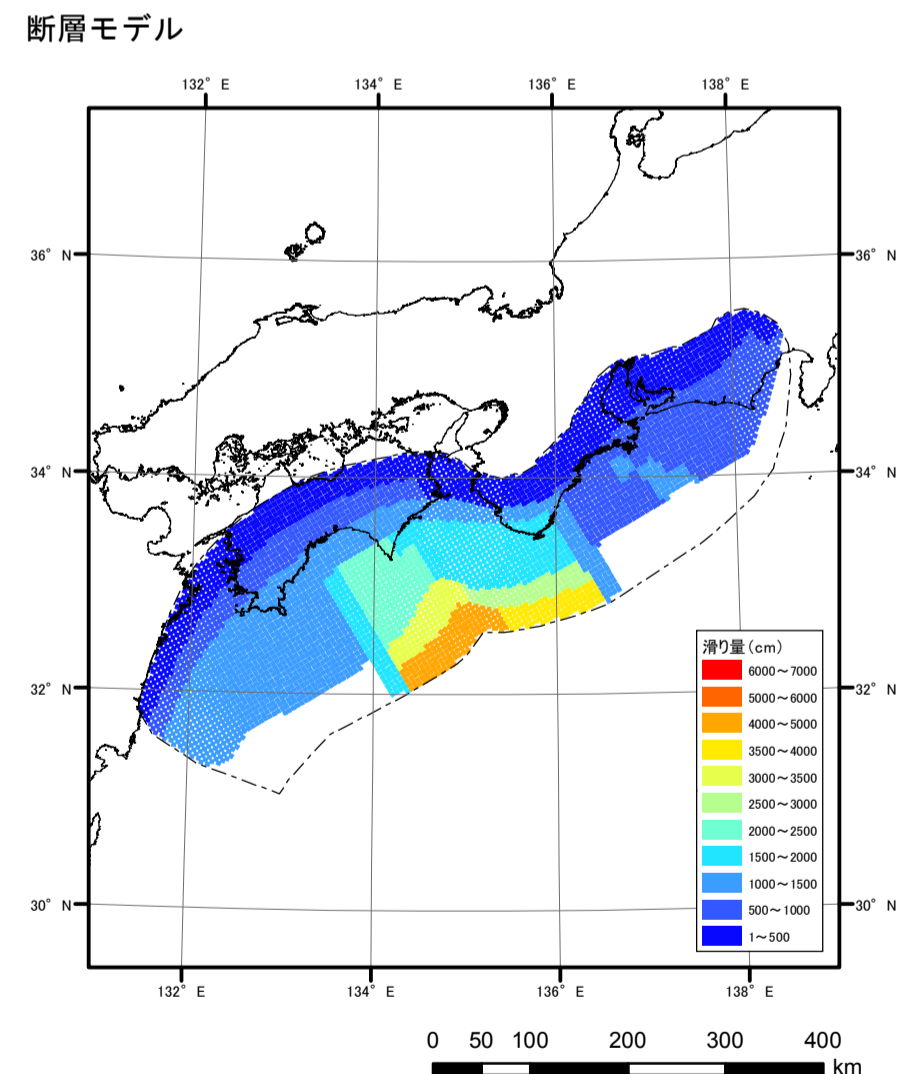
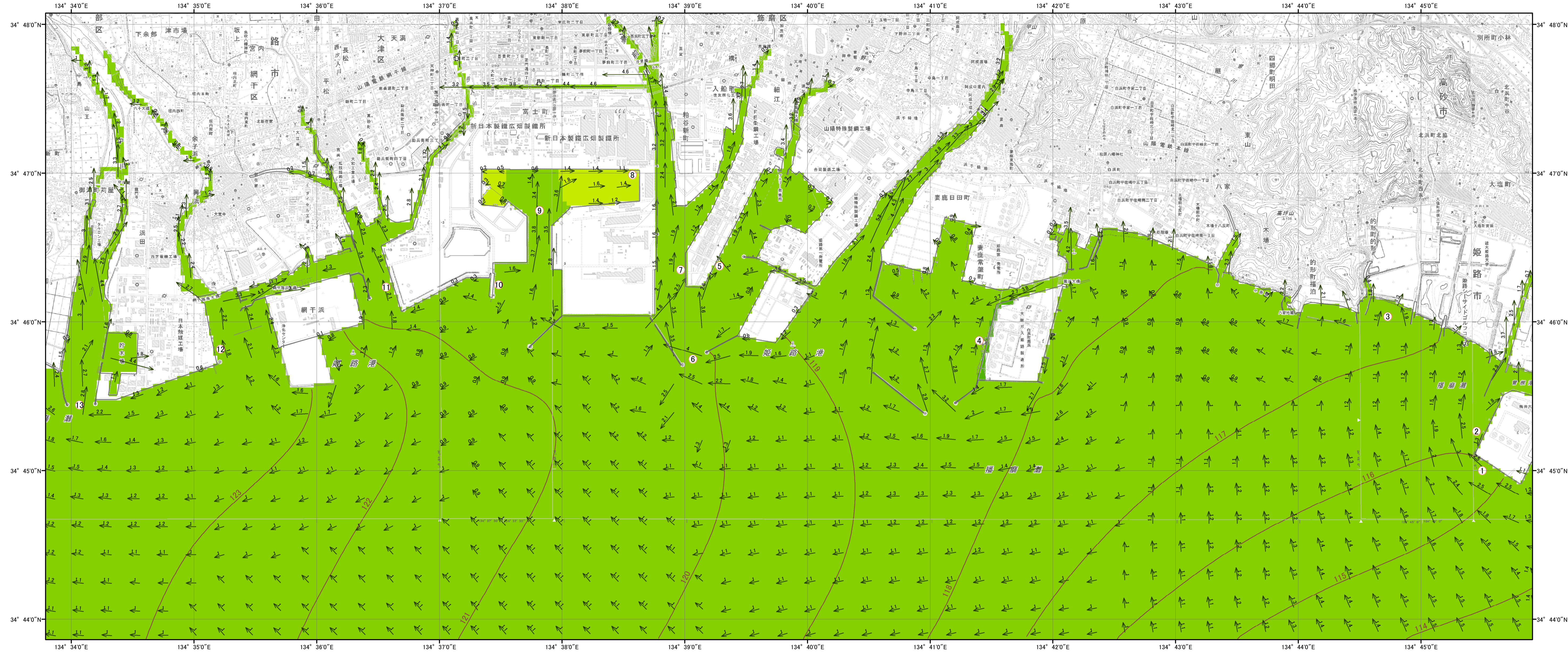
姫路港 津波防災情報図（進入図）

計算条件：最高水面（零位）
 隆起量：平均 -0.06m(-0.07m ~ -0.04m)
 Zo：0.90m
 備考：本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。



1:25,000

座標系：メルカトル図法
 測地系：世界測地系 (WGS84)



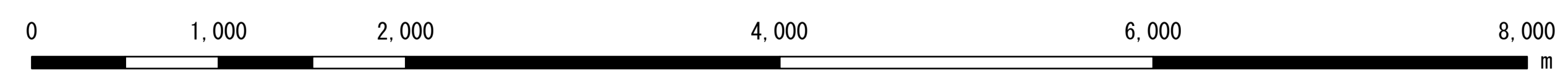
ケース③「紀伊半島沖～四国沖に『大すべり域+超大すべり域』」

断層面積 S (km ²)	140,000
地震モーメント Mo (N·m)	6.4 X 10 ²²
平均すべり量 D (m)	10.9
モーメントマグニチュード Mw	9.1

凡例

- 水位上昇(+10cm)となる等時線[分]
- 最大水位上昇
 - 2~最大2.3m
 - 0.5~2m
 - 0.5未満
- 経時変化図出力点
 (図上の位置における津波の挙動を別図の経時変化図で示す。)
 (例) 水位、流向、流速経時変化図

- 進入時最大流 [knot]
 - 3 knot
 - 2 knot
 - 1 knot
- 津波の到達時間は、水位が最高水面から10cm変動した時点を出している。
- 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。



本断層モデルは、内閣府の「南海トラフの巨大地震モデル検討会（第二次報告）（平成24年8月29日発表）」により公表されたものである。
 使用した断層モデルは、内閣府より公表された11ケースの中から、本図の区域において、浸水面積が最大となるモデルを選定した。
 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。
 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
 ・海上保安庁が保有する水深データ
 ・基礎地図情報5mメッシュ (標高)・10mメッシュ (標高)、及び数値地図25000 (地図画像) (国土地理院発行 国土地理院長承認 承認番号 平24情使、第911号 平成25年3月29日)

作成機関：海上保安庁
 防災情報図作成年月：平成25年3月 (初版)
 地形データ作成年月：平成18年3月 (初版)
 改訂：平成24年3月 (改訂)